

「第 44 回雲南懇話会」開催のご案内

ー オーロラ・氷河・暮らし・西域慕情 / 夢・好奇心・探求心 ー

雲南懇話会代表幹事 前田栄三

「第 44 回雲南懇話会」を下記のとおり開催致しますので、ご案内します。

「雲南懇話会」は、中国雲南省の最高峰・梅里雪山（6,740m）を中心とする「雲南・チベット地域」及びその周辺地域の総合的な研究を進める事を目的に、2004年12月に発足、今年で14年目となります。2016年6月以降、雲南懇話会は、京都大学ヒマラヤ研究ユニット& AACK 共催で行なわれています。今回の会場（新丸の内ビル）は土曜日休館のため、入館方法等に制約があります。（具体的には備考欄に記載）また、会場の収容能力の点から定員 101 人と致します。事前の参加申込をお願いします。

記

1. 日 時； 2018年4月21日（土）13時00分～17時00分。茶話会；17時00分～18時00分。

2. 場 所； 京都アカデミアフォーラム（東京駅前、新丸の内ビル10階）

<http://www.kyoto-af.jp/access.html#link01>

3. 懇話会の内容 <講師、演題、講演の順序など変更ある場合は、ご了承をお願い致します。>

① **トピック** 「京でも見えたオーロラー明和7年の巨大磁気嵐」

ー2018年1月、文理融合シンポジウムの成果紹介ー

国立極地研究所名誉教授、AACK 山岸 久雄

② 「ヒマラヤ氷河研究最前線」ー2009年のヒマラヤ氷河スキャンダルとその後の展開ー

名古屋大学大学院 環境学研究科准教授、笹ヶ峰会 藤田 耕史

③ 「尾瀬と共に54年」ー札幌、京都を結んでー

尾瀬沼畔 長蔵小屋三代目 平野 紀子

④ 「通える夢は崑崙の 高嶺の彼方ゴビの原」ー李陵説話と西域慕情ー

京都大学名誉教授（中国法制史） 富谷 至

⑤ 「総括（まとめ）」

雲南懇話会代表、筑波大学名誉教授 安仁屋政武

4. 懇話会参加費用； 一人2,000円。 但し、学生・院生は無料。

茶話会参加費用； 一人1,500円。 学生・院生は500円。

5. 参加申込；定員 101 名。 前田栄三 e3maeda*ab.auone-net.jp or 小林尚礼 bakoyasi@gmail.com まで。

（SPAM メール防止のため、@を伏せ字にしています。使用時、変換願います。）

以 上

備 考： **入館には、2か所で専用の ID カードが必要です**。1箇所は、地下1階の新丸ビル入口（スターバックスの前）。もう1箇所は館内1階のエレベーターホール入口です。2か所共に「雲南懇話会」と表示した立て看板を用意し、カードを所持した雲南懇話会幹事を配置いたします。配置する時間帯は12時20分～13時15分の間とします。

なお、新丸ビルを退出する場合は自由ですが、再入館はカードが必要になります。ご注意ください。

京都大学ヒマラヤ研究ユニット：http://www.kyoto-bhutan.org/ja/news/139_2016-02-15.html